

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道33号 <small>こうちにし</small> 高知西バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局	
起終点	自：高知県高知市鴨部 至：高知県吾川郡いの町波川	延長	9.8km			
<b>事業概要</b> 高知西バイパスは、現道（一般国道33号）で発生している慢性的な交通渋滞の解消や、ボトルネックである仁淀川橋の回避による円滑な通行の確保、そして、路面冠水地域を避けた常時通行可能な道路の確保を実現することにより、沿道環境の改善と利便性の向上を目的としている。						
S49年度事業化		S57年度都市計画決定 (H13年度変更)		S59年度用地着手		
S62年度工事着手						
全体事業費	約878億円	事業進捗率	46%	供用済延長	4.3km	
計画交通量	21,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.0  (残事業) 3.9	総費用： (残事業)/(事業全体) 283/941億円 (事業費：271/919億円 維持管理費：12/22億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 1,100/1,844億円 (走行時間短縮便益：1,019/1,754億円 走行経費減少便益：68/86億円 交通事故減少便益：14/4.1億円)	基準年： 平成20年度		
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動： B/C=4.1(交通量+10%) B/C=3.6(交通量-10%) 事業費変動： B/C=3.5(事業費+10%) B/C=4.4(事業費-10%) 事業期間変動： B/C=3.9(事業期間+2年) B/C=3.9(事業期間-2年)						
<b>事業の効果等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保（高知西バイパスの整備により、渋滞損失時間が大幅に削減）</li> <li>・国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違いが困難な仁淀川橋を通行しないルートが確保される）</li> <li>・地球環境及び生活環境の改善・保全（CO2・NO2・SPM年間排出量の削減）</li> </ul> 他12項目に該当						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 本事業の推進にあたっては、国道33号整備促進期成同盟会、国道33号線整備促進期成同盟会高知県協議会より積極的な整備促進要望を受けている。						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国横断自動車道の供用や高知松山自動車道の推進及び宇治川放水路の整備など。</li> <li>・大規模小売店（店舗面積：8,110㎡）が沿道に開店する等、交通渋滞の深刻化。</li> </ul>						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> I期区間の用地は全て取得済みであり、現在0.6kmが完成供用、3.7kmが暫定供用している。II期区間は平成14年度に着工している。事業全体の用地取得率はH19年度末で76%である。						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 枝川～鎌田間が平成20年代半ばは暫定2車線供用予定、鎌田～波川間が平成20年代後半暫定2車線を供用目標として、現在事業を全面的に展開している。						
<b>施設の構造や工法の変更等</b> PCコンボ桁等の新技術工法の積極的利用などによるコスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>The map illustrates the project route from the Iino River to the Wada River. It is divided into three main sections: a 5.5km section (2nd phase), a 4.3km section (1st phase), and a 9.8km total length. The 1st phase is further divided into a 2-lane temporary supply section and a completed 6-lane section. Key locations marked include Ino, Iino, Wada, and Takada. A legend indicates road status: solid line for '供用中' (in use), hatched area for '再評価箇所' (re-evaluation area), and dashed line for 'うち供用中' (partially in use).</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。